

38 【津山高専】

活躍する卒業生

①甲斐 英二（1996 年度卒業，原子力安全研究協会技術参与）

本校卒業後，海上自衛隊入隊。その後，旧原子力安全・保安院に転職し原子力防災課訓練班長，危機管理班長を歴任した。2011 年の東日本大震災時には，官邸にて原子力防災対応をし，福島県に代替 OFC（緊急事態応急対策等拠点施設）を立上げ，現地で原子力災害の対応を行った。その後，島根原子力保安検査官事務所副所長，上齋原原子力規制事務所所長を歴任した。現在は原子力安全研究協会技術参与として活躍している。

②清水 敦史（1999 年度卒業，株式会社チャレナジー代表取締役）

2005 年に株式会社キーエンスに入社。2011 年の東日本大震災をきっかけに，独力で「垂直軸型マグナス式風力発電機」を開発した。”風力発電にイノベーションを起こし，全人類に安心安全なエネルギーを供給する”をビジョンに掲げ，2014 年 10 月株式会社チャレナジーを設立した。

③山田 邦明（2005 年度卒業，株式会社コノテ（conote inc.）代表取締役）

弁護士として最高裁判所に 2 年間勤務後，エンタメ会社の上場貢献した。その後，地元岡山に帰郷し弁護士事務所等に勤務後「瀬戸内に転がる物語を発見し表現していく，物語創造カンパニー；株式会社コノテ（conote inc.）」を設立した。

④小津野 将（2009 年度卒業，University of Alberta 博士研究員）

沖縄科学技術大学院大学で人工知能の研究を行い，現在は，University of Alberta の Reinforcement Learning and Artificial Intelligence Lab で博士研究員として活躍している。小津野氏は，米グーグル（Google）と英ディープマインド（DeepMind）との共同研究の成果で NeurIPS2020 のオーラル（執筆論文の採択率が 1%）に輝いた AI 技術の研究者である。同氏は文藝春秋 2021，5 月号の「令和の開拓者たち 20，小津野将」や日経クロステック 2021.1.8 の「AI 最高位論文に輝いた 30 歳日本人研究者」に掲載されており，国内外から注目を浴びる研究者となっている。